# ピジョンクラウド 入門ガイドブック



#### ピジョンクラウドでできること

#### 業務に合わせたテーブルを作成

業務に合わせてテーブルを作成できます。テンプレートから作成したり、自分でカスタマイズを自由に加えることができます。

#### データを一元管理

様々なデータフォーマットに対応しており、データを 一元管理することができます。ブラウザから複数ユー ザーで共有することができます。

# ピジョンクラウドで作るデータベース例

ファイル管理

在庫管理

勤怠管理

問い合わせ管理

タスク管理

日報管理

顧客管理

請求管理



ピジョンでは上記以外にも多くのテンプレートを デフォルトで備えています。

### ピジョンクラウドの特徴

#### プログラミング不要



設定画面から設定を行うことで誰でも データベースが作成できます。

#### データのエクスポート(出力)と、インポート(入力)



CSVでエクスポート・インポートができる ためエクセルで作成したデータを使うこ とができます。

#### 拡張可能



APIが用意されているので、外部連携や拡張が可能です。

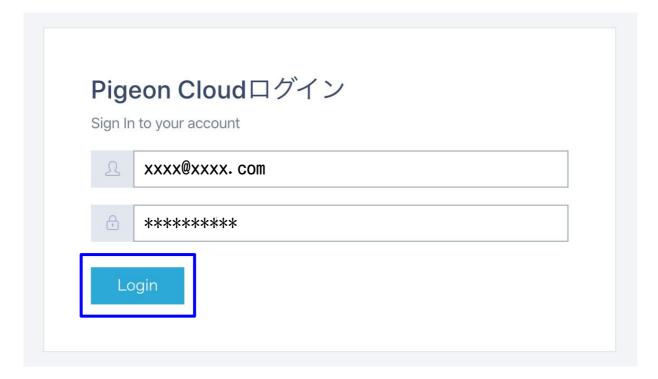
まずは無料登録から、 データ登録までやってみましょう。

さっそく使ってみよう!!



# ログインする

指定ID/PASSでログインします。



# 画面説明

サイドメニュー

とても シンプルだね!!

メインビュー



サイドメニューを隠します

Pigeon Cloud	<b>8</b>
<b>&amp;</b> ダッシュボード	てい した竹和
輩 商品管理	・ユーザー情報編集 ・ユーザー管理
<b>☷</b> 売上管理	<ul><li>組織管理</li><li>権限設定</li></ul>
<b>å</b> ユーザー	・ログアウト 等
📽 権限グループ	
› ログ	
データセット定義	

### メニューの構成

# **Pigeon Cloud** ダッシュボード テーブル 商品管理 (データベース) これはあなたが自由に作成 できるテーブルです。最初 = 売上管理 は何もありません。 ▲ ユーザー 権限グループ ログ アカウントのログインやア クセスのログを見ることが ログ できます データセット定義

「商品管理」テーブル(データセット)を作成します。







テーブル名を入力します。ここでは「商品管理」としましょ う。

「フィールドを追加する」を選択します。

#### 項目

データセットのひとつひとつの 項目です。エクセルで言うと各 列です。

「商品管理」テーブルのフィールド(項目)を作成します。

フィールドの種類を選択します「追加」を選択します。ここでは「文字列(一行)」を選択しましょう。



項目名に「商品名」と入力します。 種類は「テキスト」のままで大丈夫です。 「追加オプション設定」をクリックしてください。



「必須項目にする」にチェックを入れます。

★ 追加オプション設定必須設定□ 必須項目にする

一番下の「追加する」で追加完了です。



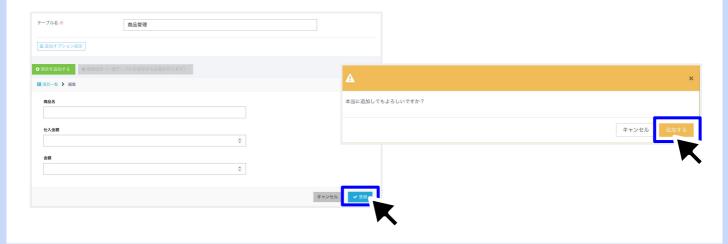
これで「商品名」 フィールドが追加さ れたよ!



同じ手順で、「仕入金額」「金額」のフィールドも追加してみましょう。 今度は「文字列(一行)」ではなく「数値」なので、そこだけ注意してください。

フィールド名	フィールドタイプ	必須かどうか
仕入金額	数值	必須
金額	数值	必須

#### フィールドの追加が終わったら「登録」と「追加」を押します





これで「商品管理」のテーブルが登録できました!!

### テーブルを登録する

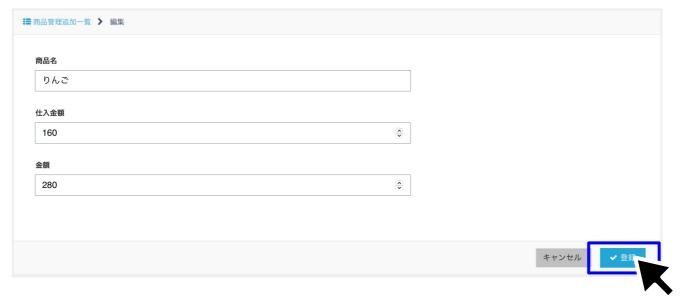
メニューに「商品管理」が追加されています。「商品管理」を開いてみましょう



まだ何も登録されてません。「追加」を押してください。



商品の情報を入力して「登録」を押してください。



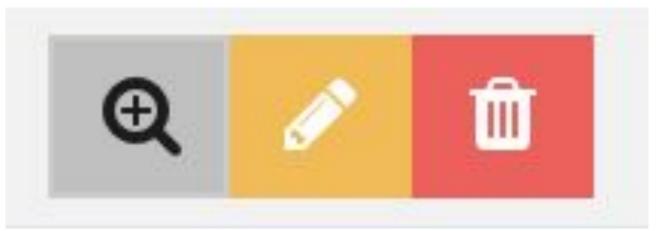
### テーブルを登録する

#### 商品情報が登録されました。





データの詳細確認、編集、削除はこれらのアイコンから行うこと ができます。

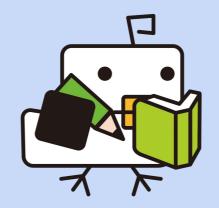


データの詳細を 確認する

データを編集する データを削除する

# 計算フィールドを使ってみましょう。

# 商品の売上を計算するよ

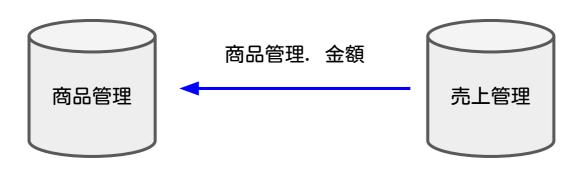


この章では、商品の売上を計算する「売上管理」データセットを作成します。

まず、売上の計算式を決めておきます。

売上 = 商品の金額 × 数量

上記の計算式の「商品の金額」は、前章で作成した商品管理データセットから「参照フィールド」を使って参照します。





「参照フィールド」はデータセット同士を連携させるためによく使うフィールドです。覚えておきましょう。

テーブル管理を選択し、メイン画面から「追加」を押します。テーブル名は「売上管理」とします。 「項目を追加する」を押します。



#### 「他テーブル参照」を選択します。



①項目名:「商品」と入力

②対象テーブル:「商品管理」を選択

③表示項目:「フィールドから選択」を選択し、プルダウンで「商

品名」を選択



「必須項目にする」にチェックを入れて、 「追加する」を押します。

10p-11pと同じ手順で、「日時」「数量」のフィールドも追加してみましょう。

フィールド名	フィールドタイプ	必須かどうか
日付	日時 ※「種類」は「日付の み」を選択	必須
数量	数値	必須



フィールドの順番は矢印ボタンから変更することができます。



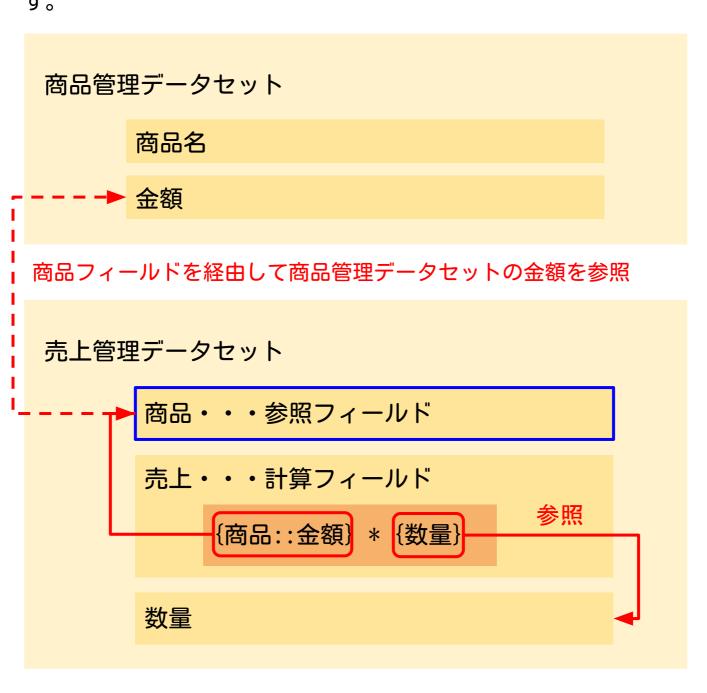
続いて、売上を計算するフィールドを追加します。 「フィールドを追加する」を押し、「計算」を選択します。



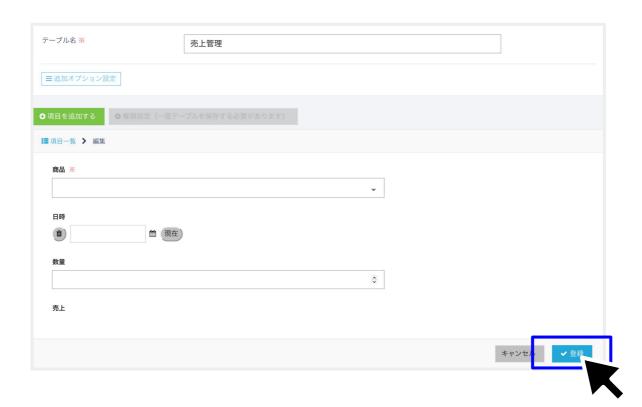
項目名に「売上」と入力し、「計算式」には以下のように入力し、「追加する」を押します。



計算フィールドと参照フィールドは以下のような構造になっていま す。



「登録」を押し、データセットの登録を完了します。





これで売上管理データセットが作成されました。

それではデータの登録をしてみま しょう。メニューから「売上管理」 を選択します。

「追加」を押し、「商品」「日時」「数量」の値を選択・入力し、 登録を行います。







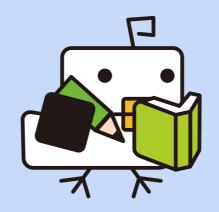
#### 「売上」がちゃんと自動計算されてます!!





# データをCSVでアップロードしましょう。

まとめてデータを 登録しよう。



既存のExcelファイルやCSV出力されたデータを取り込む事ができます。

この章ではCSVでデータをまとめてアップロードします。

サイドメニューの「商品管理」を選択し、 メイン画面で「CSVアップロード」を選択してください。





まずは、CSVのテンプレートをダウンロードします。 「CSVダウンロード(空)」を押すとダウンロードすることができます。



ダウンロードしたCSVファイルを、エクセルなどの表計算ソフトで開きましょう。下のように一行目だけ入力されたファイルを開くことができます。



以下のように「商品名」「仕入金額」「金額」に値を入れましょう。IDは自動で採番され、更新日時、作成日時は自動で登録されるため、空白で良いです。

入力が終わったら保存してください。

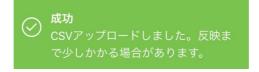
#### 「.xlsx」ではなく「.csv」ファイルとして保存することに注意して ください。

ID(_id_)	商品名※(field1)	仕入金額※(field2)	金額※(field3)	更新日時(updated)	作成日時(created)
	バナナ	50	100		
	オレンジ	75	120		
	グループフルーツ	150	170		
	いちご	400	450		
	レモン	70	130		

- ①さきほどの画面で、「ファイルを選択」を押します。
- ②作成したCSVファイルを開きましょう。
- ③「アップロードを押します。」



以下のポップアップが表示されます。



しばらくするとアップロードが完了しデータが登録されます!

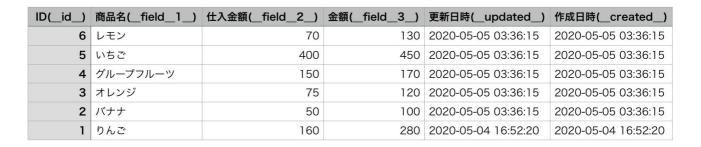


今度は一度アップロードしたデータをまとめて編集してみましょ う。

先程と同じ画面で、「CSVダウンロード」を押して現在のデータをダウンロードします。



ダウンロードしたファイルを開くと、以下のようになっています。 (ちゃんとIDや更新日付、作成日付が自動で入ってますね!)



CSVファイルを以下のように編集します。

ID(id)	商品名(field1)	仕入金額(field2)	金額(field3)	更新日時(_updated)	作成日時(created)
6	レモン	70	130	2020-05-05 03:36:15	2020-05-05 03:36:15
5	いちご	400	450	2020-05-05 03:36:15	2020-05-05 03:36:15
4	グループフルーツ	150	170	2020-05-05 03:36:15	2020-05-05 03:36:15
3	オレンジ	80	150		2020-05-05 03:36:15
2	バナナ	50	100	2020-05-05 03:36:15	2020-05-05 03:36:15
1	りんご	160	280	2020-05-04 16:52:20	2020-05-04 16:52:20
	みかん	170	230		

更新データ

「更新日時」は空白にする。「ID」は変更してはいけない。

新規データ

「ID」「更新日時」「作成日時」は空白にしておく。



IDは、データセット毎に1から自動的に採番されていく、データを区別する一意な識別番号になります。 データの編集対象はこのIDによって区別されます。



IDは通常、非表示になっていますが、 データセットの定義から表示するように 変更することもできます。

さきほどと同じ手順で、CSVファイルをアップロードをしてください。

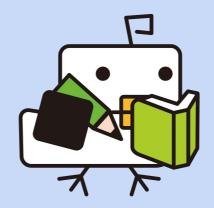
データが下記のように追加・更新されていれば成功です。

商品名	仕入金額	金額
みかん	170	230
レモン	70	130
いちご	400	450
グループフルーツ	150	170
オレンジ	80	150
バナナ	50	100
りんご	160	280



# 集計をしてみましょう

売上を集計するよ。



この章では集計機能を使って、売上管理データセットの集計を行います。

まずは集計の元になる売上データを、CSVでアップロードします。 (アップロード方法は「CSVアップロード」の章を参照してくださ い。)

CSVデータはこちらからダウンロードしてください。

https://pigeon-fw.com/sample/earnings.csv

「売上管理」にCSVアップロードを行いましょう。 少し時間がかかります。



#### 以下のようにデータが入っていれば成功です。



それでは「集計」を行ってみましょう。 売上管理データセットの「集計」を押します。



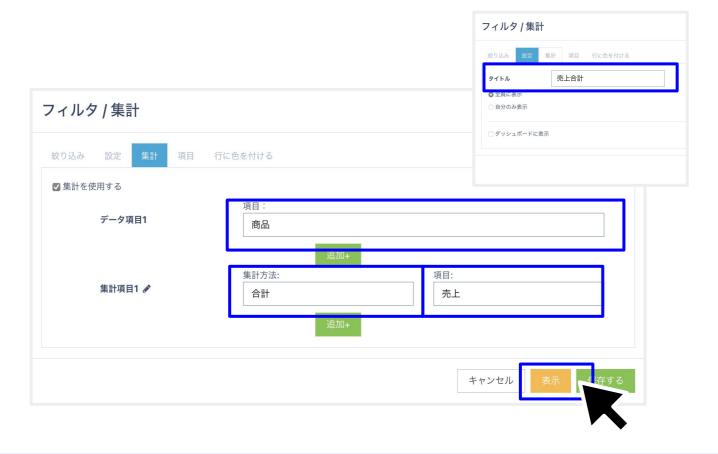
以下のように入力します。

①データ項目1:「商品」を選択

②集計項目1の集計方法:「合計値」を選択

③タイトルを「売上合計」に←設定タブから

④集計項目1の項目:「売上」を選択





#### ★データ項目と集計項目の関係★

「データ項目毎に、集計項目の集計を行う」と考えてください。りんご -> 売上合計、みかん->売上合計、バナナ->売上合計・・・といった具合です。

#### 集計結果が以下のように出力されました!



集計結果は保存することができます。「フィルタ結果を保存」から 保存しましょう。



集計結果が保存されました。 右上のアイコンから保存した集計を確認することができます。

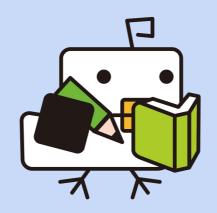


おめでとう! 集計までできるように なったね!



### ユーザーを増やして権限を管理しよう。

複数のメンバーで使えるようになるよ。



### ユーザー管理

この章ではユーザー管理機能を使って、複数のユーザーで管理が 行えるようにします。まずはユーザー管理の例を見てみましょ う。

マスターユーザーは何でもできますが、ユーザーの場合は閲覧しかできないように設定をしたいと思います。

ユーザー管理の例		
	T K	
	マスターユーザー	ユーザー
商品管理	閲覧・編集	閲覧
売上管理	閲覧・編集	閲覧
売上集計	閲覧・編集	閲覧
ユーザー管理	0	

#### ユーザー管理

ユーザーを登録しましょう。 サイドメニューの「ユーザー」を選択し、追加をします。



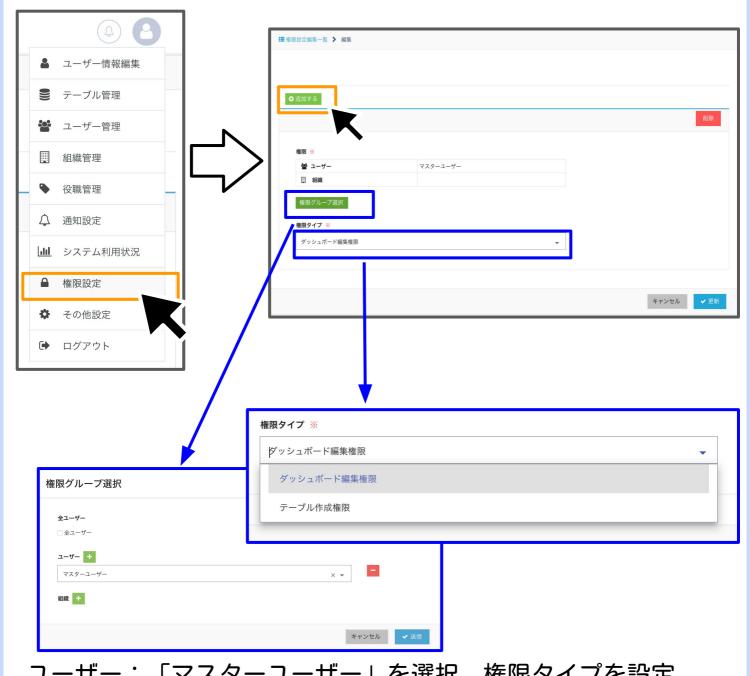
名前、メールアドレス、パスワードを入力します。先程作成した権限グループを設定します。「状態」を有効にします。





### 権限設定

権限設定を選択し、ユーザー毎の権限を設定していきま す。今回はマスターユーザーの権限設定を行います。



ユーザー:「マスターユーザー」を選択、権限タイプを設定

### 権限設定

#### 登録をクリックします。



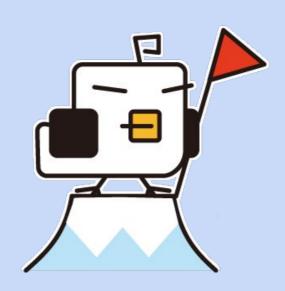




マスターユーザーのみがダッシュボードを編集出来る 権限に設定されました

# その他の機能

その他便利な機能を 知っておこう。



# 使用状況(使用容量、ユーザー数)を 確認する

右上のアイコンからシステム利用状況を表示します。



現状使用しているストレージ使用量、ユーザー数が表示されます。



### ユーザーの操作ログを確認する

ユーザーの操作ログはサイドメニューから確認することができます。



確認できるログは以下となります。

ログ	内容
ログ	ログインやデータの操作履歴
CSV UP/DL履歴	CSVアップロード・ダウンロードの 履歴

さらに高度な使い方は下記のマニュアルから 確認頂けます。

https://help.pigeon-fw.com/

ご不明点等あれば、 サポートにお気軽にご連絡下さい。 sales@loftal.jp



https://pigeon-fw.com/cloud